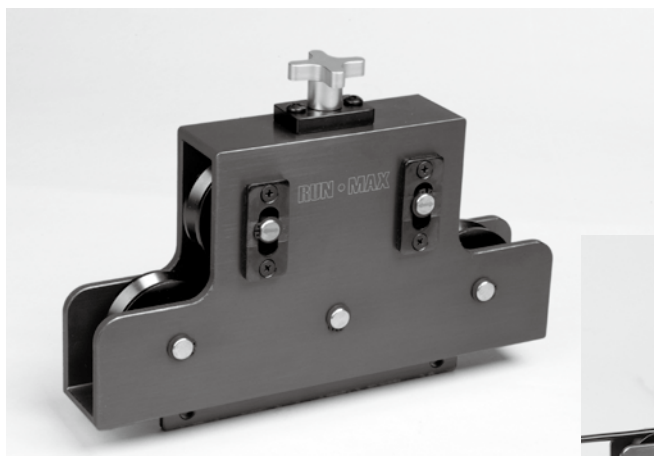


TOOLS



●ラン・マックス チューブストレートナー



カラー：P45 参照

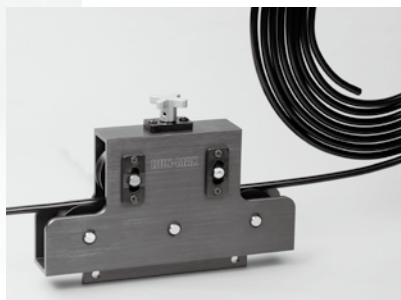
| 品番 | サイズ 横幅(mm)×高さ(mm)×厚み(mm) | 対応チューブサイズ 外径(φ) | 価格 |
|--------|-----------------------------|-----------------------|---------|
| RT1206 | 300×152×50 | 3/16"(4.8)~1/2"(12.7) | ¥22,000 |

チューブ(パイプ)をコイル状、ラセン状(出荷状態)及び、曲がった物などをまっすぐにする工具です。

アルミ、スチール、ステンレス、銅、etc 材質は問いません。

又、サイズ的には外径 3/16"(4.8φ) ~ 1/2"(12.7φ) までの範囲であれば全てに対応します。

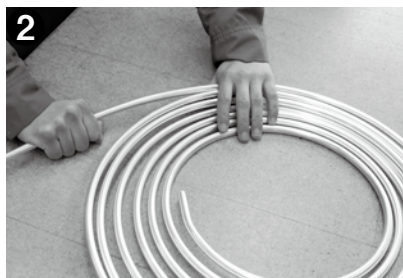
又、上下合計 5 箇所有る内蔵ローラに樹脂を使用する事により、特にカラーアルミパイプには有効で、筋目や傷など付きにくくなり、非常にスムーズな作業が出来ます。本体カラーはブラック、アルマイト仕上げです。



〔作業手順〕



1 まずはチューブストレートナーをバイスなどで挟んで固定します。



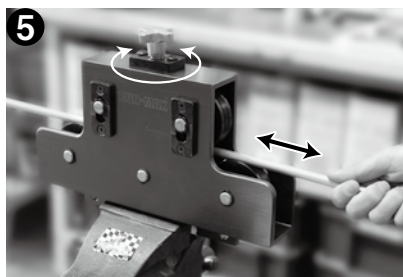
2 曲がったチューブをある程度まっすぐになるまで手で曲がりを修正します。



3 ある程度まっすぐになったパイプを上面十字型ハンドルを回しチューブが入る位置までローラーを引き上げます。



4 入るのを確認して、端からチューブを入れていきます。



5 引いたり押ししたりの作業を繰り返して行い反対側から出て来るチューブの曲がり具合を見ながら上面十字型ハンドルでまっすぐになるまで微調整を行ないます。

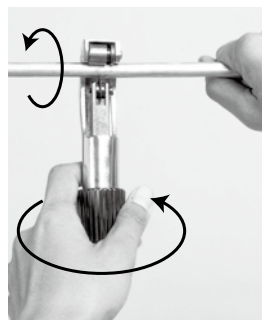


6 後は、下記のチューブ専用カッターなどを用いて必要な長さにカットして下さい。

●ラン・マックス チュービングパイプカッター



カラー：P8 参照



垂直にカットする



パイプ内側のバリを取る

アルミ・銅・その他肉薄パイプなどを 360° 回転させながら直角に切断するパイプ専用カッターです。

| 品番 | 切断範囲 | 価格 |
|-------|--------|--------|
| RT274 | 3φ~28φ | ¥1,800 |

※カッター刃スベア付き

336

※表示の本体価格は税抜価格です。
 お支払時に別途消費税額を申し受けます。

TOOLS



●ラン・マックス ロータリー フレア ツール



カラー：P46 参照

37°テーパ角 ラン・マックス及びアールズその他、各メーカーのAN規格 (P172 イラスト参照) 対応になっています。

45°テーパ角 エアコン配管、ABS・クラッチ・ブレーキラインパイプなどのI.F(インバーテッドフレア)規格対応になっています。

| 品番 | テーパ角 | 価格 |
|--------|------|---------|
| RT1837 | 37° | ¥19,000 |
| RT1845 | 45° | ¥19,000 |

適応パイプ外径 (O.D)

1/8" (3.2 mm) ・ 3/16" (4.8 mm) ・ 1/4" (6.4 mm)

5/16" (7.9 mm) ・ 3/8" (9.5 mm) ・ 7/16" (11.1 mm)

1/2" (12.7 mm) ・ 5/8" (15.9 mm) ・ 3/4" (19.0 mm)

コマが回転式で、上記9種類のパイプサイズに対応しています。

〔作業手順〕



1 まず準備としてパイプを P336 のチュービングカッターで必要な長さにカットします。



2 次にパイプ先端内側のバリを丸ヤスリ又はチュービングカッター付属の三角ヤスリで取り除きます。



3 次にローレットグリップを手で持ち本体を裏返し対面内蔵コマ2箇所をパイプ外径サイズ (刻印で表示) に合わせます。



4 次に本体の三角蝶ネジハンドルを緩め横にスライドさせます。



5 次にパイプを本体下から差し込みストップ位置でパイプを止めます。



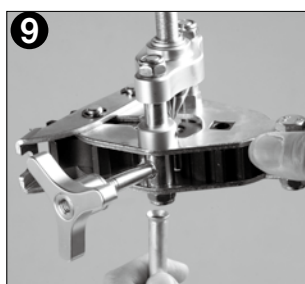
6 次にパイプがストップ位置で止まっているのを確認し、本体横の三角蝶ネジハンドルをスライドさせ締め込みます。



7 次に本体上の一文字ハンドルを回し、固くなるまで締め込みます。その際テーパ部にオイルを塗布すると仕上がりが良くなります。



8 次に出来上がった所で一文字ハンドルを廻し (緩め) ネジ部を上まで引き上げ、先程締め込んだ三角蝶ネジハンドルを緩め横にスライドスライドさせます。



9 次に内蔵コマ片側をスライドさせパイプを取り出します。



10 最後にきれいにフレアが出ているか目視して、問題無ければ実車に取り付け、漏れなど無いか確認して下さい。